

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌



今回は「挨拶」について話したいと思います。挨拶といってもいろいろあるけれど、とりわけ結婚披露宴や〇〇会のように私たちの日常でよく行なわれる挨拶のことです。

挨拶を頼まれた人は、尋常ならざるプレッシャーを感じながらも自分の挨拶で聴衆に感動を与え、「素晴らしい挨拶でしたよ」と称えられることを心のどこかで期待しているような気がします。人間は誰だって他者から褒められたい、自分の言葉で感動させたい、と思うのが人情です。しかし、そんなことができるのは、大谷翔平のような異星人並のスーパースターだけです。

だいたい私たち凡人の蘊蓄は、せいぜいネット情報か、書籍やあるいは他人から聞いた話の類です。自分一人が知っている情報なんてほとんどありません。だから、挨拶に勝負をかけた人は個人のエピソードネタとお笑い芸人級の話術、つまりセンスのいい話ぶりが必要で。

挨拶の鉄則は、「短いこと」「聴衆を感動させるなんて大それたことを考えないこと」です。そして、何よりも「感謝」「お礼」「お祝い」の気持ちを素直に述べることに尽きると思います。

私が今も印象に残っているのはある祝賀会での「乾杯の音頭」のことです。音頭といわれても、「せつかくのご指名ですので、乾杯の前に一言ご挨拶を……」と言って長々と話す人がよくいます。が、その人はグラスを片手に颯爽とマイクの前に出てきて、「一礼すると」心からのお祝いを込めて、ご唱和お願いいたします。それでは、乾杯！」と高々と盃を掲げ、また一礼をして席に戻っていききました。それはすごく美しい光景でした。そもそも「挨拶」には、日常的に交わすものと改まった場合に行なうものがあります。しかし、もとは人間関係を円滑にするための一定の形式を持った儀礼的な相互行為(ネット情報)だそう。

つまり挨拶は演説とは違い基本的に儀礼的なもので、それゆえに美しい方がいいと思うのです。そうは言っても挨拶を依頼されると人は、「上手い挨拶」「聴衆の感動を誘う挨拶をしたい」という煩惱がなかなか離れられません。私もその一人です。時々そんな傲慢さが怖くなります。

未練をできるだけ捨て、身軽になって死すべき定めを迎えたい。これもまた煩惱なのでしょうか。(富永健)

エントリー No. 7
◆ルーチェ

3月に小学校を卒業したばかりの合唱部のメンバー。この日のために編曲したひやみかち節を、透き通るような美しい歌声と見事なアンサンブルで観客を魅了し、審査員特別賞(かりゆし賞)を受賞した。



エントリー No. 9
◆オオガネグスク兄弟

カナダ出身と京都在住沖縄出身の二人が今コンクールのために結成。ひやみかち節にクラシックやポップスをメドレーで披露。審査員特別賞(匠才庵賞)を受賞した。



エントリー No. 8
◆那覇太鼓

前回に続き二回目の出場。舞台を目いっぱい活用したアクロバティックな動きと迫力ある太鼓の響きが観客の心を震わせ、躍動的なパフォーマンスと元気の良さで会場を盛り上げた。



アカペラでひやみかち節を歌いあげ、その美しい歌声とハーモニーにボイスパーカッションのアクセントが入り、圧倒的な声による調和で会場を魅了した。



エントリー No. 10
◆和音聖言美事御殿



コンクールの総評をする審査委員長の神谷幸一氏。



賞金10万円を手にし、インタビューを受ける。



ゲストライブには第3回に大賞受賞したラコルドが登場。



第6回国際ひやみかち節コンクール「ひやみかち大賞」を受賞した安慶名大芽さんと安次富省吾さん。

英会話サークルのメンバーで構成されたグループ。三線演奏にひやみかち節の歌詞を英語で歌い、衣装や元気なダンスを披露した。
エントリー No. 6
◆C-TEC



「第6回国際ひやみかち節コンクール」を開催

戦後の激動の時代にあつて沖縄県民を奮い立たせ、元気にしてきた県民の愛唱歌ともいえる「ひやみかち節」。演奏、歌、踊りなど自由なパフォーマンスでその精神を表現し競う、第6回国際ひやみかち節コンクール(主催:緑樹会)が4月15日(日)、沖縄市民小劇場あしびな1で開催された。

同コンクールは、「ひやみかち節」に込められた精神を継承し、国際文化観光都市を宣言する沖縄市から福祉文化を世界に発信することを目的に、毎年開催している。

昨年11月からコンクール出演の募集を開始し、多数の応募の中から、一次審査(音源審査)を通過した十組が本選に出場した。中には、カナダから参加する出演者もあり、国際的な広がりを見せるコンクールとなった。

本選に出演した十組は、歌や踊り、演劇など、また、笑いも織り交ぜた様々なパフォーマンスを披露。4分の持ち時間のなか、それぞれが思い描く「ひやみかち節」を表現し、見る人に勇気と元気を与えた。各出演者のパフォーマンスの度に、会場内は盛り上がり、大きな歓声に包まれた。

エントリー No. 1
◆北谷みやらび



唄三線で息の合った歌声と見事な早弾きを披露し、審査員特別賞(仲本工業賞)を受賞した。

エントリー No. 3
◆じのーんシンカ



沖縄の苦しい時代、失意にある民衆が、ひやみかち節で自らを鼓舞し、皆を奮い立たせるストーリーの創作劇を披露した。

エントリー No. 5
◆てーふあ一家にんじゅ



親子3名、家族での出場。てーふあな掛け合いと唄三線にコミカルなダンスを交えて、見る人に笑顔と元気を与え、見事、審査員特別賞(コザ信金賞)を受賞した。

各出演者のハイレベルなパフォーマンスに、審査にも熱が入り、厳正な審査の結果、ひやみかち大賞は、安慶名大芽さんが受賞し、その栄冠を手にした。また、審査員特別賞コザ信金庫賞には、「てーふあ一家にんじゅ」。同じく(株)仲本工業賞には、「北谷みやらび」。同じく(株)かりゆし賞には、「ルーチェ」。同じく匠才庵賞には、「オオガネグスク兄弟」が、それぞれ受賞した。(砂川智規)

エントリー No. 2
◆Team Kailua



沖縄から海外へ渡った「移民」をテーマに、先人たちの思いを演劇風に表現。ひやみかち節に合わせて、歌や踊りにハワイアンフラを織り交ぜ、喜びの様子を表現した。

エントリー No. 4
◆安慶名大芽



民謡歌手の仲宗根創さんの門下生で、前回に続き、二回目の出場。年齢を感じさせない迫力ある歌声と三線演奏で観客を魅了し、見事『ひやみかち大賞』を受賞した。



みどり学童クラブ 新1年生入会



平成30年度のみどり学童クラブには、13名の1年生が入ってきました。
初めこそ「どんな所かな？」と少し不安な表情でしたが、同じ幼稚園のお友達やお兄ちゃんお姉ちゃんの顔を見るなりパワー全開です！
2年生や3年生に交ざって鬼ごっこやドッジボールと、とても元気に走り回っています。個性豊かな新メンバーを迎えたみどり学童クラブ。今年度も子ども達と元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。

株式会社アルプス技研 車イスを寄贈 介護老人福祉施設緑樹苑



3月23日(金)、沖縄市社会福祉協議会で、株式会社アルプス技研より沖縄市内の介護保険事業者に車椅子の10台の寄贈があり、贈呈式が行われた。
同社西日本事業の山田英二部長は「弊社は今年7月の創業50周年を機に、全国の営業拠点の地域の皆様に感謝の意を込め、介護施設等へ車椅子を寄贈することとした。弊社に沖縄出身者がいて福岡営業所沖縄分室を立ち上げた縁もあり、車椅子が沖縄の皆さんの役にたてれば」と寄贈への思いを述べた。



緑樹苑では、寄贈された車椅子が早速、利用者に提供され、利用者はその使い心地に笑顔を見せていた。
(橋詰金子)

みどり学童クラブ 春の遠足 & お別れ会



3月29日(木)の遠足は豊見城市にある海軍豪公園へ行ってきました。
午前中は旧海軍司令部の見学をしました。入口のモニターでの説明や当時の話を、全員が真剣に聞き入っていた姿がとても印象的でした。
午後は隣接している公園へ。景色もよく大きな遊具があり、子ども達は元気に走り回っていました。



30日(金)は、今年度で卒業する子ども達を囲んでお別れ会を行いました。部活や習い事のため途中で退会した児童にも声をかけ、みんなでおいしいケーキを食べ、ゲームをして盛り上がりました。そして卒業する児童達を囲んで記念撮影。
春は別れの時期でもあり、出会いの時期でもあります。これから何人もの子ども達が学童に入っては、この場所から巣立っていきます。巣立った先で子ども達はまた新たな出会いや別れの中で様々な経験をして成長していきます。



僕たち指導員もただ同じ場所に居続けるだけではなく、今まで出会った子ども達やこれから出会う子ども達からたくさん刺激を受けながら成長して、保護者や子ども達が安心してできる「安全基地」であり続けたいと思います。(野崎太郎)

第6回「ぬちぐすい講座」を開催 沖縄市地域包括支援センター西部北(緑樹苑)

3月19日(月)、包括支援センター西部北主催の『第6回ぬちぐすい講座』が開催された。西部北地区在住の方や居宅介護支援事業所職員、包括職員など、総勢28名が参加した。

第六回目は、平成29年度の総括として、講座についてのアンケートを取り、それを基に情報交換、交流会を行った。三つのグループに分かれ、意見交換や次年度に向けて希望する講座内容について話し合った。参加者からは「同じ内容を繰り返し受講してもいいのでは?」という意見や、「普段段々う機会が無い方と、知り合えたり話ができるのが良い」「次年度も日程が許す限り参加したい」など嬉しい意見も上がった。

また、受講者皆勤者の表彰も行われ、四名の方に賞状と寄せ植えが贈られたほか、講座の参加者への感謝の気持ちを込めて、ぬちぐすいストラップも贈られた。

平成30年度も、地域の活動に活かせる内容を盛り込んだ講座が開催される予定。

(比嘉久美子)



第1回ぬちぐすい講座「オリエンテーション」
日時:平成30年5月21日(月)10:00～
場所:ケアハウスはいびすかす会議室

5月に講座を開催し、出前講座も予定していますので、受講希望の方や興味がある方等、気軽に包括支援センター西部北までご連絡下さい。

まだまだ、未熟者ですが、心を豊かにして、技術と知識を更に向上できるように、これから頑張っていきたいです。



ケアハウス
ていんさぐぬ花
介護員 喜友名 俊

シリーズ
職員エッセイ

平成29年度定年退職者辞令交付式&慰労会

3月30日(金)、緑樹苑では平成29年度定年退職者辞令交付式を行い、31日付で定年退職を迎える職員四名と勤続21年を以て退職する職員一名が参加した。

交付式では浜川通理事長から退職辞令が交付され、緑樹苑利用者の皆様の笑顔と健康に尽力してきた職員に感謝の言葉を述べるとともに、感謝状と記念品が贈られた。

辞令交付式後の慰労会では、定年退職者と役職員が食事を囲んで歓談した。(與座嘉一郎)



平成30年度 入社式・辞令交付式

新年度を迎え、本格的に業務が開始される4月2(月)、平成30年度入社式・辞令交付式が行われ、新規採用職員をはじめ、昇任や人事異動対象職員が参加した。

新年度の事業開始にあたり、浜川通理事長から訓示が述べられ、職員を激励した。辞令を受け取った職員は、緊張した面持ちながらも、新たな門出に決意をにじませた。

辞令交付後、新たに就任したケアハウスていんさぐぬ花の桃原賢治施設長や法人本部の與座嘉一郎事務局長をはじめ、各施設・事業所の施設長及び管理者が新年度にあたっての抱負を述べた。(砂川智規)



平成30年度人事

- 【昇任】
 - ・桃原賢治(施設長)
 - ・與座嘉一郎(事務局長)
 - ・根保卓巳(主任)
 - ・喜納兼善(主任)
 - ・千葉一輝(副主任)
 - ・伊藤竜二(副主任)
- 【異動】
 - ・喜納兼善(はいびすかす)
 - ・諸見里寿子(ていんさぐぬ花)
 - ・祝嶺賢宅(包括センター西部北)
 - ・比屋根英朗(ディサービス)
 - ・漢那ルミ子(緑樹苑)
- 【採用】
 - ・特養緑樹苑
 - ・仲宗根明日香
 - ・上運天瑠河
 - ・島袋幸子
 - ・居宅サービス事業所
 - ・東江さゆり
 - ・幸喜美幸
 - ・ていんさぐぬ花
 - ・浜川智保
 - ・親泊多恵子

5月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(火)			スカッシュボール		
2(水)		ミニシアター	歌会		
3(木)		カラオケクラブ	手工芸	ハンドマッサージ	学童休園日
4(金)			映写会	手芸クラブ	学童休園日
5(土)			ボウリング		学童休園日
6(日)			カラオケ		学童休園日
7(月)		民舞クラブ	輪投げ		
8(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ		
9(水)		防災訓練	歌会		
10(木)	防災訓練	手作りおやつ会	手工芸	手作りおやつ会・防災訓練	
11(金)	母の日会	母の日会	映写会・塗り絵クラブ	母の日会・手芸クラブ	
12(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ
13(日)			カラオケ		
14(月)		書道クラブ	輪投げ		
15(火)		ミニドライブ	スカッシュボール	カフェタイム	
16(水)		ミニシアター	歌会		
17(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会	誕生会	
18(金)		手芸クラブ	映写会	手芸クラブ	
19(土)			ボウリング		園外活動
20(日)			カラオケ		
21(月)		お茶会	輪投げ		
22(火)		三板クラブ	スカッシュボール・三板クラブ		
23(水)	防災訓練	防災訓練	防災訓練	防災訓練	
24(木)		散髪・民舞クラブ	歌会		
25(金)	誕生会	誕生会	映写会・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板	
26(土)			ボウリング		園外活動
27(日)			カラオケ		
28(月)		書道クラブ	輪投げ		
29(火)			スカッシュボール		
30(水)			歌会		
31(木)			手工芸		

感謝録

(平成三十年三月一日～三月三十一日)

(物品の部)

株式会社
アルプス技研 様

編集後記

第6回国際ひやみかち節コンクールが開催されました。開催にあたり出演者や多くの関係方々に多大なご協力いただきました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。お陰様でチケットも完売し、客席も一部立ち見がでるほどの盛況ぶりでした。

一方で、当日券を求めてわざわざ会場までお越しいただいたにも関わらず、満席のために入場をお断りすることとなったお客様も複数名いらっしゃいました。その方には大変申し訳なく思います。

運営側としても、コンクールを成功させるべく全力で取り組んで参りました。その内容について、見ていただくことができなかったことは非常に残念でなりません。

一部ではありますが、コンクールの様子をホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。(砂川智規)